

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	放射線総合学I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担当教員	中岡大輔	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>放射線取扱主任者は、放射線同位元素規制法に基づいた国家資格で、医療放射線のプロである放射線技師が多く合格し、施設、病院で専任され、業務を行っている。また、多くの受験科目で放射線技師国家試験の領域と重っている。ただ、主任者資格がなければ放射線管理ができないだけでなく、新装置導入時の許可や毎年ある保健所立入監査等で施設としての放射線管理を厳しく問われるので、技師の重要な業務の一つである。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>①筆記試験 70%、②出席評価点 20%、③平常点(授業へ取組む姿勢) 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>第1種マスター・ノートを使用します。これは就職した施設でも使用することが多いです。毎回の授業においては、初めに過去のプリントを10問出しますので、解答してください。その後プレゼンテーションソフトにて解説します。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>平成12年から放射性物質の基準が厳しくなった。また、病院管理者は、院内感染、医薬品管理、医療機器安全の3対策が求められていたが、平成30年の医療法改正で第4項目として“診療用放射線に係る安全管理”が追加された。また、CT検査等の報告書の未確認によるがん治療遅れも報道されている。色々な管理知識が豊富な技師が必要になっています。病院スタッフになった時の自分を考えてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>第1種は合格率20%台である難関な国家資格であるが、合格すれば就職試験時の履歴書に記入でき、大変有利になる。この仕事は患者さんとあるので一生懸命です。受験勉強は今しかできません。令和の根性論はしんどくなれば休んでいいことです。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線施設、病院における放射線管理業務について	レジュメをプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめ各自で調べて下さい。授業の復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。	
		各コマにおける授業予定	主任者資格がなければ放射線管理ができないだけでなく、新装置導入時の許可や毎年ある保健所監査等で施設としての放射線管理を厳しく問われるので、技師の重要な業務の一つである。放射線技師国試にも出題されている。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線取扱主任者について	レジュメをプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめ各自で調べて下さい。授業の復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。	
		各コマにおける授業予定	昨年の試験日:第1種 令和7年8月27日28日、第2種 令和7年8月29日、申し込み日:例年5月上旬から1か月、会場:全国5か所			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:実務	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。	
		各コマにおける授業予定	測定等は2年次までに理解している。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:物理学	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。	
		各コマにおける授業予定	2年次までに理解している。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:化学	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。	
		各コマにおける授業予定	2年次までに理解している。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:生物学	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	2年次までに理解している。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:法令	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	2年次までに理解している。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:実務	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	日本アイソトープ協会から過去問の演習ソフトが公開されている。スマホでも使用できる。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:物理学	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	日本アイソトープ協会から過去問の演習ソフトが公開されている。スマホでも使用できる。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:化学	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	日本アイソトープ協会から過去問の演習ソフトが公開されている。スマホでも使用できる。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:生物学	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	日本アイソトープ協会から過去問の演習ソフトが公開されている。スマホでも使用できる。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	受験科目:法令	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	日本アイソトープ協会から過去問の演習ソフトが公開されている。スマホでも使用できる。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合演習	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	繰り返しの演習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合演習	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	繰り返しの演習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合演習	解説をプレゼンテーションソフトにて供覧	あらかじめマスター・ノートで2年次の復習をして下さい。授業は復習を求めます。質問についてはメールにて随時受け付けます。
		各コマにおける授業予定	繰り返しの演習		